

第七十九回句会 俳句

【高点句】

- ☆梅ふむむ笑顔のままに汀子逝く 〈千恵〉
- ☆強東風や絵馬が絵馬打ち鳴らしたる 〈明美〉
- ☆産声の戦時下になお春の星 〈伸子〉
- ☆行列に並びてひとつ桜餅 〈撫子〉
- ☆仔パンダのころりころりと風光る 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・シクラメン蕾十まで数へけり 〈美保〉
- ・春一番帽子追ひかけ丘下る 〈緑〉
- ・白梅の夜道にぼっと浮かびけり 〈伸子〉
- ・歩いても消えぬ雑念梅払う 〈青蛙〉
- ・梅の香に誘われ古寺を巡るかな 〈哲雄〉
- ・亡き父母の佇まいかな紅白梅 〈莫院〉
- ・梅日和レンタサイクル出払つて 〈明美〉
- ・白梅やそっとマスクをはづしけり 〈千恵〉
- ・コロナ禍でやかましきかな猫の声 〈隆司〉
- ・胎動に家中笑顔梅ふむ 〈眞澄〉
- ・玄関の紙雛愛でる郵便夫 〈郁代〉
- ・雪被る電車は草津の戻り便 〈一馬〉
- ・街灯のぼつりぼつりと梅白し 〈撫子〉
- ・サックスはフラット気味に梅匂う 〈安津子〉

*以上、4 2句（3句ずつ1 3名と2句が1名、1句が1名）より、選句は15名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で5句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載／1名は掲載辞退）